

「前立腺周囲の筋膜構造の解剖学的研究」へのご協力をお願い

■ 研究の対象

2020年4月1日～2023年3月31日に亀田総合病院で前立腺癌の手術、または他の疾患で亡くなられ病理解剖を受けられた男性の方

■ 研究の目的・方法

前立腺癌の標準的な治療法の一つとして、手術である根治的前立腺全摘除術が行われています。近年は内視鏡下手術が広く行われるようになり、肉眼でも詳細な人体の構造が観察できるようになりました。手術における適切な剥離操作（目標とする臓器をその周囲から剥がすこと）には、前立腺周囲の筋膜（線維性の膜構造からなる結合組織の境界）の構造を理解することが重要となります。適切な剥離層の選択は手術時間の短縮、出血量の減少、直腸などの周辺臓器の損傷の軽減、前立腺周囲の神経温存による男性機能の温存などにつながります。しかし、その筋膜の構造についてはいまだ明らかになっていないところもあります。

この研究では、前立腺周囲の筋膜の構造を前立腺癌の手術検体や病理解剖で

採取された検体を利用して肉眼および顕微鏡的解剖により研究します。そして、前立腺周囲の筋膜の構造の知見を深めることで、今後の前立腺癌に対する手術成績の発展に貢献する解剖学的基盤を構築することを目的とします。

研究実施期間は 2021 年 4 月 28 日～2024 年 3 月 31 日です。

■ 研究に用いる試料・情報の種類

- ・前立腺癌の手術検体（前立腺、精嚢、精管、尿道および膀胱の一部）
- ・病理解剖により採取された骨盤内臓器（前立腺、精嚢、精管、膀胱、尿道、直腸を含む）とその周囲の結合組織

■ 外部への試料・情報の提供

この研究により一定の成果がえられた場合には、その結果を学会や論文で発表しますが、データは個人が特定できないように匿名化し電子ファイルとして取り扱います。参照した画像等は、匿名化の後、亀田総合病院泌尿器科にて厳重に保管し、研究終了後に適切に扱わせていただきます。

■ 研究組織

亀田総合病院 泌尿器科

■ お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記のご連絡先までお問い合わせください。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することができますのでお申し出ください。

また、試料・情報が当該研究について、患者様もしくは代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象者といたしませんので下記の連絡先までお申し出ください。その場合でも患者さまに不利益が生じることは一切ありません。

亀田総合病院

泌尿器科 越智 敦彦

電話： 04-7092-2211(代)